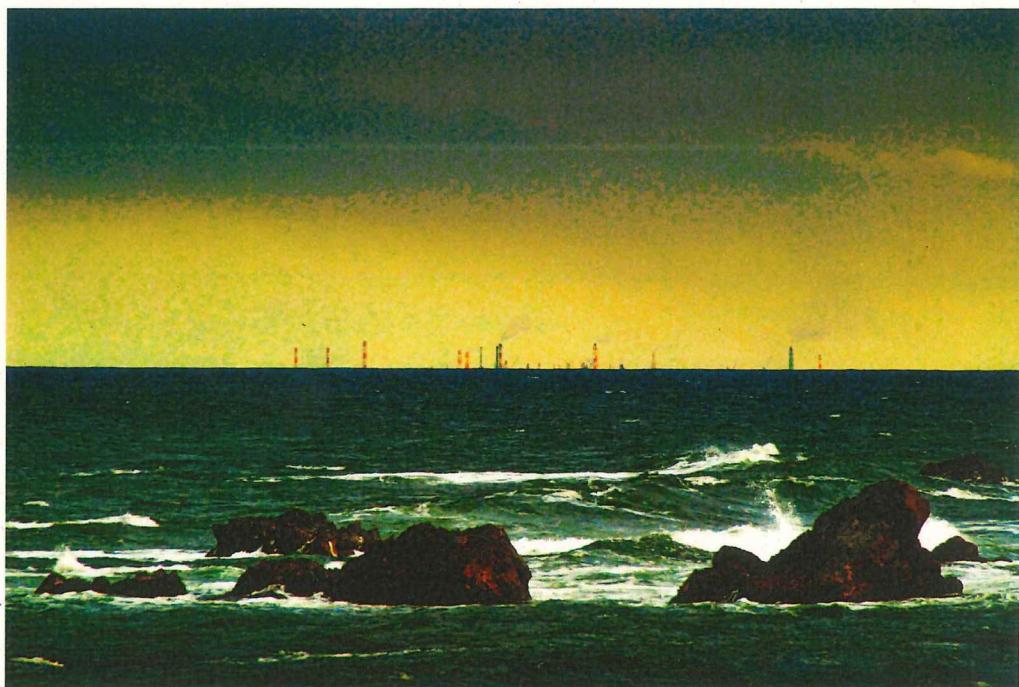


第21号

ひたちなか市文化協会会報「白亜紀」

白亜紀



ひたちなか市文化協会

題字 白亜紀

書道連盟顧問
河野 秋月

由来

砂岩とシルト岩が互層を呈する7千5百万年前の中生代白亜紀の地層。白亜紀の岩に波の碎けるさまは悠久の命を感じさせる。文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見いだすことは、人々の変わらない願いである。人生は短く、芸術は永し、ひたちなか市文化協会の目指すものは悠久の芸術そのものである。

写真

「地球は丸い・蜃氣楼か?」

写真連盟会員
正木 建治

写真連盟顧問
福田 仁

撮影者の正木さんは蜃氣楼と思っていたようですが、これは紛れもなく実像です。良く晴れた早朝や夕暮れ時には、平磯海岸から陸路で約60キロ先にある鹿島臨海工業地帯の工場群の一部が水平線上に頭を出し、「地球は丸い?」を実感できるのです。平磯から磯崎にいたる海岸には県指定天然記念物である「中生代白亜紀」の地層が白波に洗われており、写真手前の岩礁は、全てが南向きに傾斜しているなかで、一箇所だけ北を向いて逆らっているために、「畜生磯(岩)」とか「逆列磯」と言われているのです。

私は、個性化時代を象徴するような存在で、何となく愛おしい奇岩に思えてなりません。

この一帯の海岸から採石された石は、「磯崎石」と称され常陸太田市の水戸徳川家「瑞龍山墓地」の石垣に使われているとのこと。

目次

会長あいさつ

コロナ禍へのチャレンジ ······ 1

令和4年度活動報告 ······ ······ ······ 1

活動報告 ······ ······ ······ ······

総会 ······ ······ ······ ······ ······

芸術祭 ······ ······ ······ ······ ······

春の祭典 ······ ······ ······ ······ ······

3 2 2 2 1

団体の活動紹介

美術部門

美術協会 ······ ······ ······ ······ ······

書道連盟 ······ ······ ······ ······ ······

陶芸協会 ······ ······ ······ ······ ······

写真連盟 ······ ······ ······ ······ ······

音楽部門

合唱連盟 ······ ······ ······ ······ ······

市民吹奏楽団 ······ ······ ······ ······ ······

市民オーケストラ ······ ······ ······ ······ ······

ジャズ連盟 ······ ······ ······ ······ ······

舞踊部門

舞踊連盟 ······ ······ ······ ······ ······

洋舞踊協会 ······ ······ ······ ······ ······

11 10 10 9 9 8 7 7 6 6

文化協会組織図	17	17	16	16	15	14	14	13	12	12
編集後記	17	17	16	16	15	14	14	13	12	12
棋道部門										
俳句連盟										
囲碁連盟										
美術部門										
書道連盟										
陶芸協会										
写真連盟										
音楽部門										
合唱連盟										
市民吹奏楽団										
市民オーケストラ										
ジャズ連盟										
舞踊部門										
舞踊連盟										
洋舞踊協会										



「春の祭典」より
華道連合会による迎花

17 17 16 16 15 14 14 13 12 12

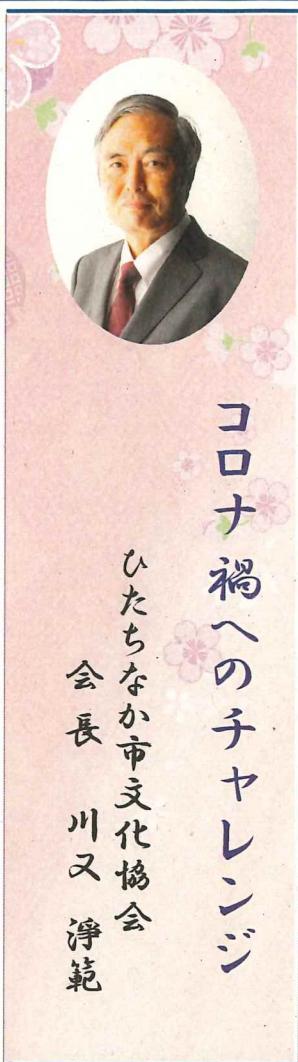
令和4年度のもつともよかつた出来事は、何といつても3年ぶりの文化協会総合発表会「春の祭典」が盛大に開催できたことです。新型コロナ対策に取り組みながら、2年間の思いを心に秘めて、展示部門・舞台部門が、実施できた感動的な一日でした。

今年度は、初めての試みとしてユーチューブによるライブ配信を行い、会場以外の場所にも祭典の雰囲気を伝え

現在、文化協会は団体数が18団体（87の支部団体）で構成され、会員数1694名で活動しておりますが、急激な高齢化の波が押し寄せています。

文化や芸術の素晴らしさは「心から心へ、先代から今へ、大人から子どもへ、つなげる・つながる」といえます。この改革に端を発した部活動改革があります。これまでそれぞれの学校で行われていた部活動を、段階を経て地域に移管することになりますが、円滑に進んでいるとはいえない状況だと聞き及んでおり、来年度からの部活動への影響を危惧せざるを得ません。長い間、日々培われてきた貴重な財産である子どもたちの可能性を閉ざしてしまうのではないかと考える

ことになりました。同じくこの改革に端を発した部活動改革があります。これまでそれぞれの学校で行われていた部活動を、段階を経て地域に移管することになりますが、円滑に進んでいるとはいえない状況だと聞き及んでおり、来年度からの部活動への影響を危惧せざるを得ません。長い間、日々培われてきた貴重な財産である子どもたちの可能性を閉ざしてしまうのではないかと考えると心配でなりません。校内全体の交流や、他の学校の素晴らしさに触ることは大切なことです。その面では、私たちにできることは、コロナ前に実施していた「一日体験教室」等を手掛かりに、少しでも豊かな環境を取り戻すため努力したいと考えております。



部活動を、段階を経て地域に移管することになりますが、円滑に進んでいるとはいえない状況だと聞き及んでおり、来年度からの部活動への影響を危惧せざるを得ません。長い間、日々培われてきた貴重な財産である子どもたちの可能性を閉ざしてしまうのではないかと考えると心配でなりません。校内全体の交流や、他の学校の素晴らしさに触ることは大切なことです。その面では、私たちにできることは、コロナ前に実施していた「一日体験教室」等を手掛かりに、少しでも豊かな環境を取り戻すため努力したいと考えております。

反面、市内小中学校に目を向けてみると、学校の働き方改革の影響により、市内・県内全体で毎年行

ることができます。また、展示部門・舞台部門の動画を文化協会のホームページ上で鑑賞できるようになっております。ぜひホームページをご覧いただき、感想やご意見を頂戴し、会員の意欲づけや、課題に取り組みながら、新会員の獲得につなげたいと考えております。

令和4年度 活動報告	
4月22日	・第1回理事会 ふあみりこらぼ
5月12日	・会計監査 ふあみりこらぼ
5月20日	・第2回理事会 ふあみりこらぼ
5月27日	・令和4年度総会 クリスタルパレス
7月22日	・第3回理事会 ふあみりこらぼ
8月7日	・第5回一日体験教室 ふあみりこらぼ
8月26日	・編集委員会 中止
9月13日	・芸術祭開催 ふあみりこらぼ
～2月12日	市文化会館他 開催 18事業 中止 2事業
10月14日	・第4回理事会 ふあみりこらぼ
1月13日	・第5回理事会 ふあみりこらぼ
2月12日	・第15回 春の祭典 市文化会館

総会



川又 淨範 会長



大谷 隆 市議会議長



大谷 明 市長

令和4年度 ひたちなか市文化協会総会

日 時 令和4年5月27日(金)
午前10時30分から
会 場 クリスタルパレス長寿荘
出席者 44名 欠席者 2名
委任状 15名(構成員 61名)
議 長 高野 新一氏(茶道連合会)
司 会 大野 ひろし氏(俳句連盟)

ご祝辞をいただきました。

議長に高野氏(茶道連合会)が選出され議事に入り、令和3年度事業実績、収支決算および決算監査の報告があり、それぞれ承認されました。

本年度の総会は、3年ぶりに面对形式での実施となりました。大野氏(俳句連盟)の司会進行で開催され、川又会長の挨拶で開始、来賓の大谷明市長および大谷隆市議会議長より

予算および理事の承認については、原案通り承認されました。なお、協会事業である「一日体験教室」は、事業の性質上、十分な感染防止策を講じるのが困難であると判断し、4月の理事会で中止が決定しました。役員改選では、理事会の決定に基づき正副会長留任で承認され、監事には、塩谷きみこ氏(俳句連盟)、橋本健吾氏(囲碁連盟)を選出し承認されました。

議事終了後のアトラクションは中止となりましたが、それでも3年ぶりに理事、代議員が顔を揃えて議論を交わすことができ、あらためて協会の団結を強めることができた総会になりました。

芸術祭は、市民の芸術文化の振興と育成、向上を目的に開催しています。本年度は右記の日程で開催されました。過去2年間はコロナ禍の影響で中止となっていた事業も、それ

芸術祭日程

9月13～18日	美術展覧会(写真)
10月2日	市民オーケストラ第39回定期演奏会
10月16日	第51回吟詠剣詩舞大会
10月18～23日	美術展覧会(絵画・彫刻・陶芸)
10月29～30日	日本舞踊公演&舞踊まつり
10月30日	いけばな展
11月3日	第52回民謡民舞秋まつり
11月9～13日	児童生徒作品展
11月13日	第41回邦楽連盟三曲演奏会
11月20日	茶道連合会祭会
11月20～27日	俳句大会
11月27日	ふるさとの伝統藝術文化研修会
12月4日	合唱祭
12月11日	バレエ&ジャズダンスフェスティバル
12月18日	市民吹奏楽団第38回定期演奏会
12月25日	Bトレイン30周年コンサート
1月22日	第11回子ども伝統文化フェスティバル
2月12日	文化協会総合発表会
2月22日	第15回春の祭典
9月13～18日	美術展覧会(書道)
1月22日	市囲碁大会

開催中止の事業

ぞれの団体が工夫を凝らし、感染対策を講じたうえで開催することができました。徐々にではありますが、コロナ禍前の賑わいが戻ってきた芸術祭となりました。一方で、協会事業である「一日体験教室」や、一部の団体事業では中止を余儀なくされたものもあります。一日体験教室については、将来を担う子どもたちが芸術文化に触れる数少ない機会であるため、来年度こそは開催できることを祈るばかりです。いまだ予断を許さない状況ではありますが、より多くの方に芸術文化を通してコロナ禍で疲れた心に癒しを提供できるよう、会員一同盛り上げて参ります。

美術展覧会上位入賞者

【写真】	【陶芸】	【絵画】
市長特別賞(委嘱出品)	市長賞(特賞) 議長賞(優賞Ⅰ席) 教育長賞(優賞Ⅱ席)	市長賞(特賞) 渡辺恵利子 砂押千恵子 齋英藏
市長特別賞(委嘱出品)	教育長賞(優賞Ⅰ席) 教育長賞(優賞Ⅱ席)	教育長賞(優賞Ⅰ席) 市長特別賞(委嘱出品)
允弘	柳田 青木 大友 光男 小林 涼子	江橋 藤波 恵子 初江
倉田 座間	善市 金夫 允弘 秀夫	賢治

第15回 春の祭典

令和5年2月12日(日)
市文化会館大ホール

本年度の春の祭典は、令和元年2月以来3年ぶりの開催となり、新型コロナ感染対策を行いながらも、文化協会会員が一丸となり、展示部門・舞台部門それぞれ盛況のうちに開催されました。

また今回は、新しい取り組みとして、インターネットへの舞台部門のライブ配信を行い、視聴回数は292回まで到達いたしました。

そのほかに、撮影した動画は再編集して当協会のホームページで公開をしておりますので、ぜひご覧ください。

令和5年 2月 12日(日) ひたちなか市文化会館 10時開場

舞台部門 プログラム(大ホール)

※開始時間は予定です。進行の都合により多少前後する場合があります。

市民オーケストラ	10:20～「鎌倉殿の13人」 海の見える街「魔女の空便急」より 他
市民吹奏楽団	10:45～「学園天国」「カーベンターズ・フォーエバー」「花は咲く」
合唱連盟	11:10～【合歓の会】による女声合唱「早春賦」「風の匂い」「呼んでいる」他
邦楽連盟	11:30～【初見佳秋社中他の演奏】による箏曲「オーロラ」
ジャズ連盟	11:50～【Bトレイン・ジャズ・オーケストラ】によるピギン・ザ・ピギン「スター・ダスト」他
休憩	12:10～
主催者あいさつ	13:05～
伝統文化連盟	13:20～ 箏曲『鏡湖』に漂う天女の羽衣』
吟詠・剣詩舞連盟	13:40～「春夜洛城に笛を聞く」『絶句』「菊花」「烏江亭に題す」他
舞蹈連盟	14:00～日本舞踊『踊り三昧』から「淡海節」「あやめ踊り」「荒城の月」他
洋舞踊協会	14:20～【ハレルヤジャズダンス】によるタップダンス「雪合戦」「ONE」他
民謡・民舞連合会	14:40～「三下りさわぎ」「機原節」「三浜盆踊り」
茶道連合会	15:00～表千家茶会

展示部門(大ホールホワイエ) 10:00～16:00

【展示部門の様子】



【舞 台 部 門 の 様 子】



川又会長

大谷市長



市民オーケストラ



市民吹奏楽団



合唱連盟



邦楽連盟



ジャズ連盟



伝統文化連盟



吟詠剣詩舞連盟



舞踊連盟



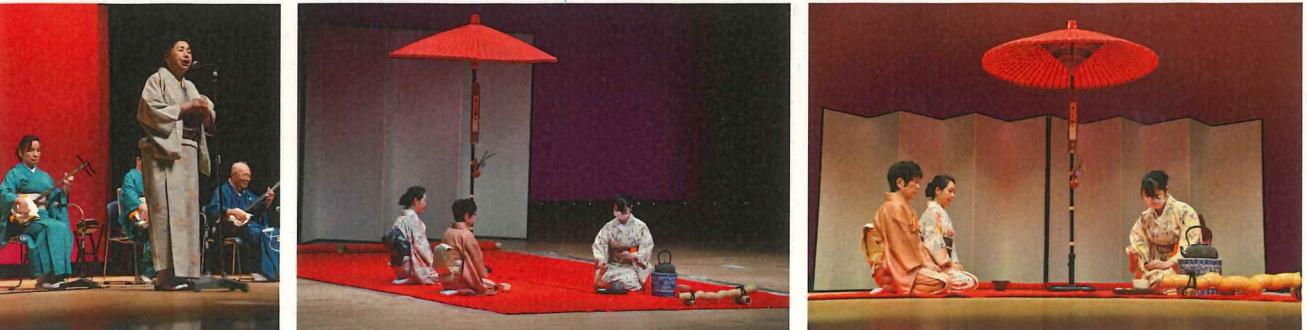
洋舞踊協会



民謡民舞連合会



民謡民舞連合会



茶道連合会

【団体の活動紹介】

美術部門

元気を絵画で発信できたなら…

美術協会会長 横須賀 幸正

本年はコロナ禍の規制も若干緩和され、計画していた行事の人物デッサン会や芸術祭も実施されたことを嬉しく思います。

美術協会では、本年もチャリティー小品展をギャラリーサザで、9月6～12日の7日間実施しました。市教育委員会、文化協会から後援を頂き感謝申し上げます。ケーブルテレビの取材もあり盛況に出来ました。売上金の1割（2万円）を市福祉協議会へ寄付することが出来たことも嬉しく思います。

人物デッサン会

チャリティー小品展
ギャラリーサザにて



【第23回美術協会展】

会期：令和4年11/12(土)～27(日)

場所：ひたちなか市役所那珂湊支所

後援：市、教育委員会、文化協会 来館者：600人以上
ケーブルテレビの取材もあり、期間中紹介され、会員一人一人励みになりました。



集合写真

会場風景



4年（指導：中村のり子氏） 3年（指導：三好義章氏）

学習支援事業

6年（指導：横須賀幸正氏） 5年（指導：君嶋海裕氏）

本年は那珂湊第二小学校から絵画指導の依頼があり「社会人による学習支援事業」の一環として4名の会員が率先して対応しました。子どもたちにとつても、現役の作家に触れるることは大変有意義なことだと思いります。来年も依頼があれば対応して行きたいと思います。

これからも市政と共に文化の発展に貢献出来るよう続けて参ります。また、より良い作品制作に励み研鑽して参りますのでご指導ご鞭撻、ご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。

書道連盟活動状況

書道連盟副会長 川野邊 泰雲

令和4年もコロナ禍にあって残念ながら例年のような活動はできなかつたのですが、矢野雲峰会長を中心として、二度の展覧会を開催することができました。1月実施の第18回書道連盟役員展は勝田駅東口の市民

その中でこの度特に注目を集めた顧問の長山素龍氏の作品についてここに紹介いたします。題材は、水戸

藩の9代藩主徳川斉昭の文を刻した「先春梅記」という石碑の拓本です。『齊昭の祖父6代藩主治保（文公）が藩の重臣の屋敷で見事な梅の花を観賞したという出来事を後世に伝えたい』と藩士に執筆を依頼され、藩主になる前の齊昭が書いたも



第18回書道連盟役員展
会場：市民交流センターひたちなか

第46回書道連盟展
および併催学生展
会場：ひたちなか市立美術館

交流センターにて役員25名が出品しました。11月実施の第46回書道連盟展および併催学生展も同会場で会員33名と学生40名の出品で開催いたしました。久しぶりの展覧会となり、日々の研鑽の成果を張り切って発表いたしました。

のです。この石碑は大正7年の水戸の大火で梅樹と共に焼失し現存しておらず、長山家に伝わったこの拓本だけが現在確認されている唯一の拓本だそうで、長山家から弘道館に寄贈されました。弘道館には斎昭が藩主になつてから書かれた「種梅記」の拓本もあり、共に観ることができます。是非訪れてみてください。



長山素龍氏作品 「臨先春梅記」



長山家から弘道館に寄贈された
拓本「先春梅記」

陶芸協会は令和4年度より活動拠点を、津田コミセンから、市毛ハーモニーセンターに移しました。利用できるのは、月・木・金曜の週3日に限定されています。

そこで、自主活動グループを再編成し活動日に割り当てました。週5日から3日に減りましたが、何とか活動できています。従来の建物には無かつた冷暖房も整つていて快適に作業ができます。しかしながら圧倒的に不足しているのが、焼成能力です。従来は、2台の焼成炉を使いそれがぞれ月3回から4回焼いたのですが、1台の焼成炉で、月2回しか使用できません。完成まで3か月以上もかかります。又、作品の大きさも制限されます。

今年の市芸術祭では、出展する作品の大きさを、小さく制限した状況です。作品の質は向上しているのですが、小さいので、迫力のない展示会になつてしましました。他にも子供陶芸や施設などの陶芸教室など、

陶芸協会令和4年度の活動紹介

陶芸協会 佐藤 祥市

社会貢献ができなくなつてしましました。従来の自由でおおらかな迫力のある作品が出来ることを取り戻すべく検討を進めています。

その一つとして、市毛ハーモニーセンター側には、焼成回数を増やしていただけるよう交渉しております。2つ目としては市毛ハーモニーセンターは、陶芸協会としては仮住まいの状況です。市行政とは、「場所



ハーモニーセンターでの作陶風景

写真歴30年に思ふこと

写真連盟副会長 清水 克之

私を含め写真連盟会員の大半は戦後の貧困と混乱、急激な高度経済成長や著しい科学技術の進歩を経験して今があります。もちろん写真界における技術革新も目覚ましく、ガラス湿板時代からフィルム時代を経て現在のデジタル化へと進化し、そのスピードに適応するのに四苦八苦しいるのも事実です。

私は30数年前、フランスの「ランジス市場」での研修に際し、フィルムカメラを代表する一眼レフを買い、世界中から集積された青果物の圧倒的な品揃え、規模の大きさに我を忘れてシャッターを切りました。ただ

の情報がありましたら、今後も提供します」と約束をいただいています。が、一刻も早く、ひたちなか市の陶芸施設が利用でき、社会貢献活動をしながら、陶芸を楽しめる事を望んでいます。

見るだけでは済まない。記録したい…。写真を「見る」から「写す」へと変わった瞬間でした。

以降、「ネイチャーワ 写真」で県展などに応募するようになりましたが、何かもの足らず、先輩諸氏の勧めもあり退職後「ひたちなか市写真連盟」に入りし、自己表現の手段である「芸術的写真」に心を奪われるようになりました。

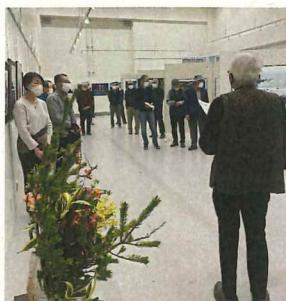
写真活動は孤独とか言われますが、月例会などで皆さんと意見交換をし、展覧会や撮影会等で喜怒哀楽を共にすることは大変貴重な経験です。ひとりよがりの作品に留まってしまうことを防ぐためにも、写真以外の美術家や音楽家等多くの皆さんとの交流を深めることができることも大切なことと思つてゐるのです。

新型コロナの影響で行動が制限される昨今ですが、前向きの姿勢で楽しく充実した生活のために「写真」に挑戦してみては如何でしょうか。

第24回市写真連盟展 令和4年3月12日(土)~3月20日(日)ひたちなか市役所那珂湊支所 写真連盟会長 平野伸生

3年も続くコロナ禍の中で開催された県・市芸術祭等で、今年も会員の活躍が目立った。個人の努力は勿論、作品研究会の成果も大である。

「感情の発露」「こころの形」「芸術は逆境の中でこそ生まれる」第24回連盟展には、那須塩原市文化協会黒磯支部写真部会の5名を含む32名71点の出品があった。活動に制限されて、撮り溜めた写真の中から漁り創った作品はない。むしろ、逆手に取った創意工夫の作品が見受けられた。来館者は300余名、多くの関係者から高い評価が得られた。



定着した福田顧問の辛口講評



出品者集合



後片付けも展示の一部

音楽部門



合唱連盟
ひばりコーラス 是枝 和子

「お母さん達もコーラスをなさつたら。」子どもたち（当時幼稚園生）のピアノの先生からのお勧めで歌い始めて51年。この年月（当初からの団員3名）続けてこられたのは、仲間の優しい笑顔の支え合いがあつたからでしょう。

以後毎年、市や県の合唱祭、その他数々の舞台を重ね、平成15年には結成30年を期して、那珂市の「コール道」さんと合同演奏を行つて以来一緒に「お母さんフェスティバル」、「関東大会」、「国民文化祭inしずおか」他、数々の舞台を踏み、平成28年・同30年の「ゴールデンウェーブin横浜」では思いがけなく、「横浜市長賞」を戴き大きな励みになりました。これもひとえに安・山田両先生の忍耐強く、丁寧なご指導のお陰と感謝しております。

令和2年来のコロナ禍のため、「県の合唱祭」、「コール道」さん

との8回目の「演奏会」、「ゴールデンウェーブin横浜」への出場も断念せざるをえず、今年は、市の合唱祭が唯一の舞台となりました。只今、会員23名平均年齢も上がり、暗譜できるまでに、時間を要するようになりましたが、この仲間がいる限りまだまだ歌つていけるでしょう。



令和4年12月4日 第54回ひたちなか市合唱祭

市民吹奏楽団事務局長 宮内 慶樹

当団では、2022年12月18日に「第38回定期演奏会」を市文化会館大ホールにて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら開催しました。

今回の演奏会は、今年度マゼランが世界一周を成し遂げて500年目ということで、『海』テーマに、『海の男たちの歌』、『レパントの海戦』、『マゼランの未知なる大陸への挑戦』などの曲を演奏しました。

その他として、スプリングコンサート開催、枝川小学校全校音楽発表会や数年ぶりにひたちなか市七夕まつりでの演奏など

の活動も行うことができました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、練習時の検温や練習中の換気、練習会場の消毒などを実施しながら活動いたしました。未だ、新型コロナウイルス・オミクロン株感染など収束しておりませんが、一日でも早く収束し平穏な生活や音楽活動ができるよう、感染拡大防止対策を実施しながら活動していきたいと思つております。

最後になりますが、ここまで活動を続けてこられたのも、市文化協会のご支援やご協力があつたからだと

おもに、

練習中の換気、練習会場の消毒などを実施しながら活動いたしました。未だ、新型コロナウイルス・オミクロン株感染など収束しておりませんが、一日でも早く収束し平穏な生活や音楽活動ができるよう、感染拡大防止対策を実施しながら活動していきたいと思つております。



第38回定期演奏会 第1部



第38回定期演奏会 第2部

思いました。心より感謝申し上げます。これからも聴いて下さる皆様が笑顔になる演奏や、市民の皆様に愛されるバンドを目指して活動していくますので、ひたちなか市民吹奏楽団をよろしくお願ひします。

今年度はやつと規制も解除され10月2日、第39回定期演奏会を開催いたしました。曲目は・ロッシーニ作曲「泥棒かささぎ序曲」・ボロディン作曲「交響曲3番」・ビザー作曲「アルルの女組曲」を演奏しました。中でもボロディンの交響曲は2楽章までという数少ない未完成曲です。

お客様を入れての演奏会、団員一同久々の充実感を味わうことができました。



プラザで3月4日(土)に開催しました。ファミリーコンサートをしあわせました。

コロナ禍の定期演奏会

市民オーケストラ団長 柳田 真

令和2年・3年と2年連続でコロナ感染のピークと定期演奏会開催日が重なり開催が困難な状況が続いておりました。

今年度はやつと規制も解除され10月2日、第39回定期演奏会を開催いたしました。曲目は・ロッシーニ作曲「泥棒かささぎ序曲」・ボロディン作曲「交響曲3番」・ビザー作曲



第39回定期演奏会の様子

「Bトレイン30周年記念コンサート」
を迎えて思うこと

ジャズ連盟
Bトレイン・ジャズ・オーケストラ
マネージャー 前多 春樹

今から遡ること60年余り前、ひたちなか市が勝田市であったころ、中学校は4校ありました。その中の勝田二中に市内で初めてブラスバンド部が設立されました。楽器といえば、笛とハーモニカ・太鼓しか思いつかない田舎の中学生にとって、繊細な木管楽器・勇壮な金管楽器の響き、一糸乱れぬリズムの音に心がはずみました。特に、水戸三中のブラスバンドが模範演奏ということで来校した時は、これが同じ中学生の演奏か?と感動しました。当時、専門の指導者がいなく、顧問の先生(坂場先生)はテニス部と掛け持ちで、割合、好きにさせてもらいました。色々な楽器に接したのも、この時のおかげです。

同級生であった、榎原君・大森君・私の3人は、高校生になってから、各高校のブラスバンドの指揮者となりました。坂場先生は「俺は鼻

が高いよ」と言つて、すごく喜んでくれました。

その頃、Bトレインと同じような編成でジャズオーケストラを作ったのです。たつた1回きりですが、勝田二中の体育館でコンサートを開いた事を思い出します。曲は「スター・ダスト」「ティクファイブ」メンバーにはピアノ坂場先生・ベース梅原さん・・・・。

60年前も今も、いい仲間に恵まれている。

田二中の体育館でコンサートを開いた事を思い出します。曲は「スター・ダスト」「ティクファイブ」メンバーにはピアノ坂場先生・ベース梅原さん・・・・。

久々の秋晴れ、菊花満開の10月29日(日)、市文化会館大酒店に於いて「日本舞踊&舞踊まつり」を開催致しました。

例年同様に開場11時30分、開演時間を12時として幕を開けました。本年度も、未だ新型コロナ影響の消えない状況を吹き飛ばそうと踊る私たち、観賞して頂ける方々の期待を思って、古典舞踊に拘らず舞踊まつりの演目を数多く取り入れて見ました。

まだまだお稽古不十分ではございませんでした。高齢者も身体と頭を使い生涯現役で

舞踊部門
「新体制の試み」

舞踊連盟 新代表 若狭 彰瑠璃

ますが、楽しく観て頂けましたでしょうか。また心穏やかにお過ごしでさきましたでしょうか。終演後入場者を確認致しましたが、昨年の3倍弱の(昨年は入場者80名前後)観客でした。応援の拍手の音に出演者達も大変感謝し、今迄にない満足感を感じ散会致しました。

伝統文化日本舞踊も年々会員の年齢も上がり若手の入会も厳しい現状です。これから舞踊界も伝統芸能を切り捨てる事なく、良きものを継承しつつ、新しい舞踊の世界を考えていいく事が課題ではないでしょうか。ひたちなか市は「芸術の街」と言われる様に、若人は指導者を目指し、高齢者も身体と頭を使い生涯現役で



30周年記念コンサート

TP: 前多氏



大和楽 「寿」

子ども舞踊
「オジロ鶯」

子ども舞踊
「紙人形」



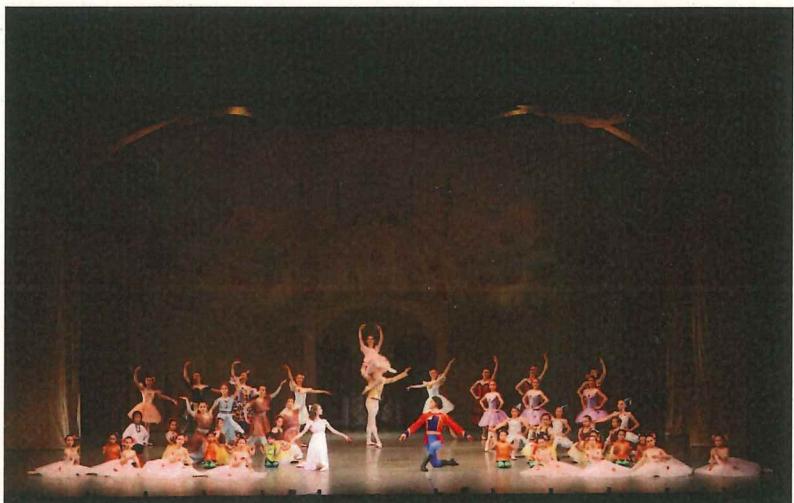
過ごせます様、微力ながらお手伝い致しますので、入会をお待ちしております。日本舞踊の発展を願い各流、社中一同、次世代に引き継ぐために精進致しますので更なるご声援をお願い致します。

伴奏樂 「雪おんな」



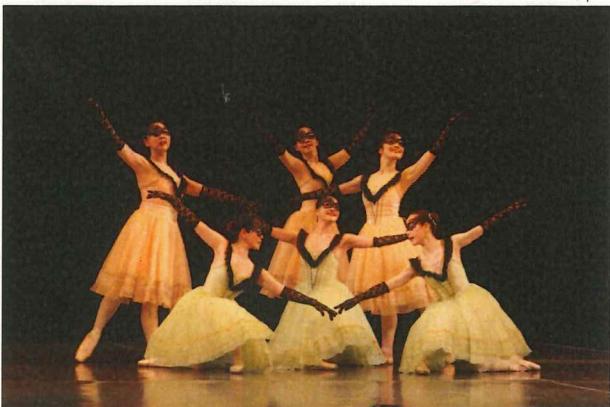
洋舞踊協会は、1978年バレエ教室3団体により設立されました。1985年ジャズダンスが加盟し、名称がバレエ協会から洋舞踊協会と変更されました。45年の歳月の間に、

洋舞踊協会会长 増田 理恵
洋舞踊協会設立45周年

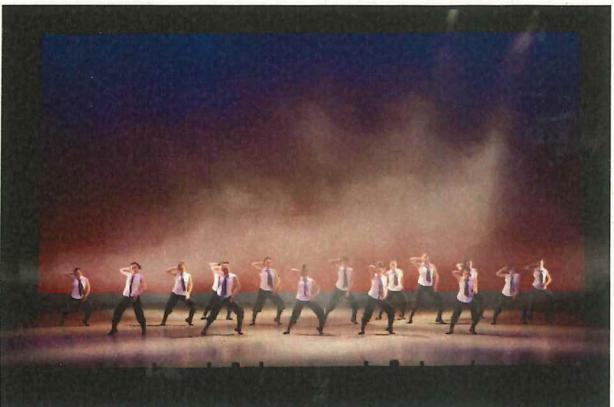


ハレルヤバレエ 「クララの夢」—くるみ割り人形より

各教室もバレエ、ジャズダンスの活動に加えて、コンテンポラリーダンス、タップダンス、フラダンス等を取り入れ、更に活動を充実させております。充実度が増すにつれ、プロの世界にはばたく生徒も続出し、名譽ある賞をいただくもの、海外に活動の場を広げるもの、その活躍は多岐にわたり、幼児から80歳を超える人まで、体力に応じて、踊ることを至上の喜びとし、コロナに負けず、楽しく精進しております。



高木バレエスクール 「仮面舞踏会」



スタジオ・マービン 「Smooth Criminal」



ハレルヤジャズダンス 「マッチ売りの少女」フィナーレ



エリーダンススタジオ 「He Meie No Lilo」

伝統芸能部門

令和4年度活動の紹介

邦楽連盟会長

初見 宗郷



伝統文化親子教室新人生徒演奏 「さくらさくら」



伝統文化親子教室経験者演奏 「ルパン三世 他」



古典演奏 「茶の湯音頭」



現代曲演奏 「尺八二重奏曲 掛合」

邦楽連盟では、文化庁主催の伝統文化親子教室を3年ぶりに復活させ、7月から活動を開始し21名の生徒を育成しています。

もう一つの事業の市芸術祭参加の三曲定期演奏会ですが、11月13日(日)市文化会館小ホールで第41回目を開催することができました。今年も、

新型コロナの感染影響で、午後からの縮小した公演となりましたが、社中の出し物が一曲集中化され、より洗練された演奏を展開することができます。

今回の演奏内容ですが、全部で11曲の内、古典物が2曲、その他が昭和以降の新曲と言われる曲が9曲でした。最近の傾向として、テンポが速い現代曲が好まれて選曲されています。また、伝統文化親子教室の生徒演奏として、新人生徒は日本古謡

の「さくらさくら」、経験者生徒は、超現代曲の「ルパン三世他2曲」を立派に演奏し、拍手喝采の素晴らしい演奏でした。

今年も、約2時間の公演としたことで、緊張した雰囲気が持続していました。観客の皆様も途中で席を外すこともなく、最後まで集中して聴いていただけました。この午後からの2時間の演奏形態を来年からの基本形態とし、質の高い演奏を目指していくたいと思います。

吟詠剣詩舞連盟事務局長 山下 勝司
の「さくらさくら」、経験者生徒は、超現代曲の「ルパン三世他2曲」を立派に演奏し、拍手喝采の素晴らしい演奏でした。

今年も、約2時間の公演としたことで、緊張した雰囲気が持続していました。観客の皆様も途中で席を外すこともなく、最後まで集中して聴いていただけました。この午後からの2時間の演奏形態を来年からの基本形態とし、質の高い演奏を目指していくたいと思います。

今年も、約2時間の公演としたことで、緊張した雰囲気が持続していました。観客の皆様も途中で席を外すこともなく、最後まで集中して聴いていただけました。この午後からの2時間の演奏形態を来年からの基本形態とし、質の高い演奏を目指していくたいと思います。

「コロナを越えて」

吟詠剣詩舞連盟事務局長 山下 勝司

猛威を振るった新型コロナもワクチン接種の効果や、感染が下火になりましたこともあり、3年ぶりに芸術祭参加の第51回発表大会を10月16日(日)に開催いたしました。

吟界においても全国的な大会である茨城放送杯やレコード会社主催の大会も再開されました。大会への参加者は大幅に減った模様で、コロナの影響はまだ残っています。

発表大会はマスク着用の発表会となりましたが、会員は久しぶりの大會を満喫いたしました。演目は絶句・律詩を中心に81題吟じられ、その内15題に剣詩舞が演じられ、ほぼコロナ前の水準で開催することができました。

詩吟は漢詩を吟じるのが一般的ですが、今大会では今までにない島崎藤村の新体詩や小林一茶の俳諧吟という意欲的なものもありました。また、伴奏面でも従来のコンダクターに加え、CD伴奏やシンセサイザーの伴奏も多く吟者に取り入れられま

した。大会も少しずつではあります
が進歩してきています。



合吟(模範吟詠)の様子



剣詩舞の様子

合吟コンクールは毎年20組弱の参加がありますが、コロナによる練習不足や会員数の減少もあり今回は8チームの参加に留まったこと、また幼少年の参加人員が減少したこと、少し残念でした。コロナが収束すればまた元気はつらつな吟が聞けることを皆楽しみにしています。

春の祭典も久しぶりに開催され参加いたしましたが、連盟の行事の一つである講演会については、今年に入つて会員のなかにコロナに感染する人が数人出て、また亡くなられる方も出たことから安心安全の観点から急遽中止といたしました。

高齢化の中での伝承活動

民謡民舞連合会事務局担当 飯田 伸

令和4年度は、4月9日(土)に春まつり、11月3日(木)に芸術祭秋まつりを市文化会館で開催しました。今年度もまたコロナウイルス感染防止を徹底し、入場者は会員・関係者のみとしました。

伝統芸能伝承活動では12月14日(水)、今年度も高野小学校で5年生を対象に体験学習を指導しました。三味線や太鼓の他、郷土民謡の「網のし唄」を唄や踊りで体験して頂きました。少ない時間の中で、子どもたちは、楽しみながら生き生きと学んでいました。

11回を迎える市子ども伝統文化フェスティバルでは、当会が指導する美乃浜学園が初めての成果を発表されました。高齢化する中で次世代に繋がれることを期待いたします。



高野小学校での体験学習指導の様子

【秋まつりコンクール特別賞受賞者】	
市長賞	磯原節 近藤さち子 すずらん会
市議長賞	東祖谷の粉ひき唄 久野節子 谷井会
市教育長賞	篠山木挽唄 黒澤康男 愛好会
市文化協会長賞	津軽あいや節 北山邦彦 菊石会

春まつりでは都々逸を特集し、全国大会で優勝した近藤さち子さんを中心に、8名で「都々逸(作詞者星野和子さん句)」を熱唱しました。秋まつりでは全国民謡と茨城の唄の部でコンクールを行い、左記のように市特別賞を受賞しました。



秋まつりコンクール特別賞受賞

「伝統芸術文化鑑賞会」に備えて…

ません。

「会員研究温習会」開催の要旨

ら、反響板を下ろして演奏することとした。

伝統文化連盟事務局長 初見 佳秋

当連盟会則に掲げる藝術文化關係者による講演会や、ふるさとの伝統

芸術文化鑑賞会開催等のほとんどが、新型コロナウイルスの影響で過去3年間開催出来ないでおりました。

特に、ふるさと伝統鑑賞会は箏、尺八、大正琴、民謡等の異なる会派が同一の舞台で協演することを特徴としており、お互いの芸域を更に深める機会を失つてしまい残念でなり

稽古を兼ねた発表の場を作ろうとの意見が出されました。

今年はコロナ感染防止策が多少緩くなりましたが、感染拡大を防ぐためにはご遠慮いただくこととしました。また、ふるさと伝統鑑賞会は、会員にとってより稔り多い温習会とするために、昨年同様以下のような方法により実施しました。

①演奏の生の音を大事にする観点から、反響板を下ろして演奏することとした。

②稽古時間と場所の確保が困難なために、昨年同様会派毎に発表することを原則としたこと。

③裏方の大変さを理解し、観衆の目線で舞台を見る体験をするために、

めに昨年同様会員関係者以外の入場を見学の後、客席から舞台に登壇することとした。

④調弦や演奏に瑕疵があった場合は、やり直しを認めることとした。

以上、コロナ禍にあつての我々の工夫と現状とを報告させて頂きました。

コロナ禍が続く今年度は、総会・研修会（水戸市植物園）、そして華道連合会一番のイベントであります、道連合会一一番のイベントであります、3年ぶりの芸術祭いけばな展を10月29、30日の2日間開催する事ができ、大勢のお客様にお越しいただき、有難く、また嬉しい思いが致しました。

来年度は、心配なく普通に行事が進んで行く事を願っております。

華道・茶道部門

コロナ禍の中での活動

華道連合会会長 清水 豊正



研修会(水戸市植物公園にて)



総会が終わって



いけばな展

出瓶者集合写真



会の存続を望み

茶道連合会会長 高野 新一

令和4年度の総会において、研修会・芸術祭茶会を予定・承認を得て活動発展な活動を再開出来ると、3年ぶりに会員一同期待をしておりました。が、現状は、コロナ禍が再来し、活動が非常に難しい状況となってしまいました。

その内で、罹患を最小限に考慮して研修会を講演会に変更しました。

会員のみの茶会となりましたが、精一杯の心づくしの会が開催されたと思います。

講師 小林のり子氏
県偕楽園公園課(弘道館事務所)
主任研究員(学芸員)
演題
『水戸藩9代 德川斉昭公について』

1841年弘道館開設 1842年偕楽園の開園等の事業を行い、一

張一弛の精神を表現している。

弘道館は、文学・武学に通ずる士族を養育するものであり、偕楽園は孟子の「古の人は民と偕に楽しむ、故に能く楽しむなり」一節による。

一方、藩内の士族による、桜田門外の変・動乱があり、光と影が際だつた人物と思われる。又、茶道の精神として「巧詐不如拙誠」を上げている。中国の古典「漢非子」「説苑」「魏志」等の出典による。

芸術祭茶会については、1年前から今年こそはと、気を使い努力して参りましたが、皆様をお招きする事はできないのではないかと役員総意となり、心苦しい事となりましたが、会員のみの茶会を開催する事となりました。



裏千家



表千家

来年こそは皆様をお招きして、盛り開催したいと心底から思つております。

文学部門



【芸術祭参加俳句大会】	市文化会館	大野ひろし会長特選	後藤和孝
11月20日(日)	38名参加	高橋和彌講師特選	大野ひろし
募集句の部	投句数376句	萬屋は村の社交場冬ぬくし	
俳句連盟会長	大野ひろし	秋蝉や施設に戻る母の黙	
吟行会 10月9日(日)	涸沼周辺	市議会議長賞	
当日の上位句 (19名参加)		手花火やぱとりと闇を引き戻す	
寄り道のおしゃれなトイレ小鳥来る	塩谷きみこ	市教育長賞	早瀬貞夫
吟行の一句を拾う木の実かな	市文化協会長賞	温度差のほどよき人とみて涼し	早瀬貞夫
細波の膨らむ涸沼鳥渡る	鈴木敏男	ハンカチへ君のことばを折り畳む	大野ひろし
舟溜まりに十余の小舟雁渡し	小松崎黎子	市俳句連盟会長賞	小松崎黎子
強風に蒲の穂采けはじめけり	高橋和彌講師特選	満月や往生といふ大仕事	大野ひろし会長特選
渡り鳥羽根を休める船溜まり	笠原真枝	老人に反抗期あり紅き薔薇	高橋つや子
吟行の声に飛び立つ鴨の群	市長賞	二学期や歩荷のような荷を負うて	藤洋子
大野ひろし会長特選	通野弘美	当日句の部 席題「屋」	高橋つや子
寄り道のおしゃれなトイレ小鳥来る	塩谷きみこ	市議会議長賞	小松崎黎子
高橋和彌講師特選	通野弘美	万屋は村の社交場冬ぬくし	高橋和彌講師特選
吟行の声に飛び立つ鴨の群	市文化協会長賞	山小屋の見えぬで遠し初しぐれ	木村年雄
通野弘美	栗田イホ子	市教育長賞	栗田イホ子
大野ひろし会長特選	山小屋の見えぬで遠し初しぐれ	大野ひろし	大野ひろし会長特選
妹都市親善団碁大会(令和元年度)	高橋和彌講師特選	木村年雄	木村年雄
通野弘美	なお姉妹都市親善団碁大会(令和元年度)	高橋和彌講師特選	通野弘美

棋道部門



囲碁連盟会長	藤谷十
市議会議長賞	笠原真枝



姉妹都市親善囲碁大会(令和元年度)

会は、令和元年度に第18回(18回目)大会を実施しました。その時に両チームとも高齢化したので往復で行うママイカーの運転が危険ということでお后コロナ禍のために3回中止したためにさらに高齢になつたので第18回で終了に決めました。

内部行事としては、ひたちなか市囲碁大会が最大のものです。例年1月に行う参加者150人規模で近隣都市からの参加者も多数あります。

でもやはりコロナ禍の影響で中止になりました。ほかに連盟内部の囲碁大会がありますがこれも自粛せざるを得ませんでした。

ただ大会はできませんでしたが、ミニ大会として毎週土曜日には少人数で集まつて感染防止につとめながら対局を続けています。これは研鑽の場としてレベルアップにおおきく役立っています。

コロナ禍のための中止・自粛は昨年度と同様です。それぞれの行事はやむを得ず控えましたが、囲碁の棋力の維持と向上には会員一同研鑽を積んで励んでいます。

ひたちなか市文化協会組織図

分野	団体名	代表者	団体数・会員数
美術	美術協会 書道連盟 陶芸連盟 写真連盟	横須賀幸正 矢野雲峰 大野八洲男 平野伸生	(1団体) 43名 (5団体) 43名 (1団体) 59名 (1団体) 29名
音楽	合唱連盟 市民吹奏楽団 市民オーケストラ ジャズ連盟	横川又淨 櫛田原 櫛原	(16団体) 250名 (1団体) 40名 (1団体) 60名 (2団体) 36名
舞踊	舞踊連盟 洋舞踊協会	若狭彰瑠璃 増田理恵	(5団体) 39名 (5団体) 200名
伝統芸能	邦楽連盟 吟詠剣詩舞連盟 民謡民舞連合会 伝統文化連盟	初見宗郷 軍地進一 柏倉豊男 鈴木誓志	(7団体) 77名 (12団体) 201名 (13団体) 165名 (5団体) 82名
華道・茶道	華道連合会 茶道連合会	清水豊正 高野新一	(5団体) 149名 (2団体) 58名
文学	俳句連盟	大野ひろし	(3団体) 52名
棋道	囲碁連盟	藤谷十一	(2団体) 111名
			18団体 (87支部団体) 1,694名

会長
会川又淨範
副会長
横須賀幸正
監事
塩谷きみこ
橋本健吾
事務局
生涯学習課

各団体においては、今年度もコロナ感染対策を講じながらの活動でした。そのような中、「白亜紀」の記事からは活気に溢れた活動を行うことができました。
もうそろそろマスクを外し普段の生活に戻つて活動したいもので
すね。

編集後記

委員長 (ジャズ連盟) 石井幸次郎
(写真連盟) 佐藤玲子
(邦楽連盟) 根本玉登恵
(茶道連合会) 川崎恵美子
(囲碁連盟) 藤谷十一
事務局 生涯学習課
木田伸子

編集委員長

会員募集中

いつでもお気軽に入会をお待ちしております!

ひたちなか市文化協会加盟団体では、会員を随時募集しております。一緒に活動参加しませんか。

お気軽にお問い合わせください。

【連絡先】ひたちなか市文化協会事務局 ☎ 029-272-6301

メールアドレス hca@outlook.jp

ホームページ <https://www.hitachinaka-ca.org>



文化協会ホームページ

会 報 白 亜 紀
発行日 令和5年3月31日
発行者 ひたちなか市文化協会
事務局 ひたちなか市市民生活部生涯学習課
(ふあみりこらぼ内)
TEL 029-272-6301
FAX 029-272-9297